

三遠南信地域連携ビジョンの実践

平成22年8月9日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

1 第17回三遠南信サミット2009in東三河の概要

日時：平成21年11月13日（金）

場所：ホテル日航豊橋

主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

開催地の意見を反映させるため、三遠南信南信サミット専門委員会を設置

1 各種総会 / 役員会

三遠南信地域経済開発協議会役員会

三遠南信地域整備連絡会議総会

三遠南信地域住民セッション

2 全体会

- ・基調講演 中央大学経済学部教授 山崎朗 氏
「変動と変化への地域的対応」
- ・報告1 豊橋技術科学大学教授 大貝彰 氏
「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プランについて」
- ・報告2 サイエンスクリエイト代表取締役専務 中野和久 氏
「農商工連携について」

3 分科会

「道」「技」「風土」「山・住」

4 報告会

分科会成果報告、サミット宣言

5 交流会

三遠南信地域物産の試食会



サミット宣言

「連携から融合に向けて、日本の県境連携を先導」

- 1 三遠南信自動車道の早期整備、リニア中央新幹線飯田駅の設置などに向けて、「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」を中心に、地域一丸となって提案活動を進める。
- 2 知的・産業クラスターの形成など県境を越えた産学官連携による農商工連携や医工連携の取り組みを進めるとともに、県境を越えた大学・研究機関の連携を通じて次代を担う人材の育成を進める。
- 3 情報発信の機会を創出するとともに、地域資源のネットワーク化やブランド化を進める。
- 4 住民の命を守る医療や防災の連携、美術館や博物館など公共施設の相互利用を進めるとともに、都市部との二地域居住など流域定住推進モデルの形成を進める。

2 広域地方計画先導事業の実施（1）

平成21年度広域地方計画先導事業

全国から31件の応募があったなかで、採択（15件）

事業名 「県境を越えた広域的な地産地消圏の形成プロジェクト」

事業主体 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（受託者）

委託者 国土交通省国土計画局

事業費 14,510,036円（決算額）

事業期間 1年間

広域地方計画先導事業の趣旨

国土形成計画広域地方計画に関わるブロック独自の地域戦略について、地域に根ざした行政、経済団体主体の実践活動を通じた実現が図られるよう、地域発意に基づく先導的なソフト事業の立ち上げを支援するもの

国土形成計画の中部圏広域地方計画では、リーディングプロジェクトの一つに「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」が位置づけられている。

2 広域地方計画先導事業の実施（2）

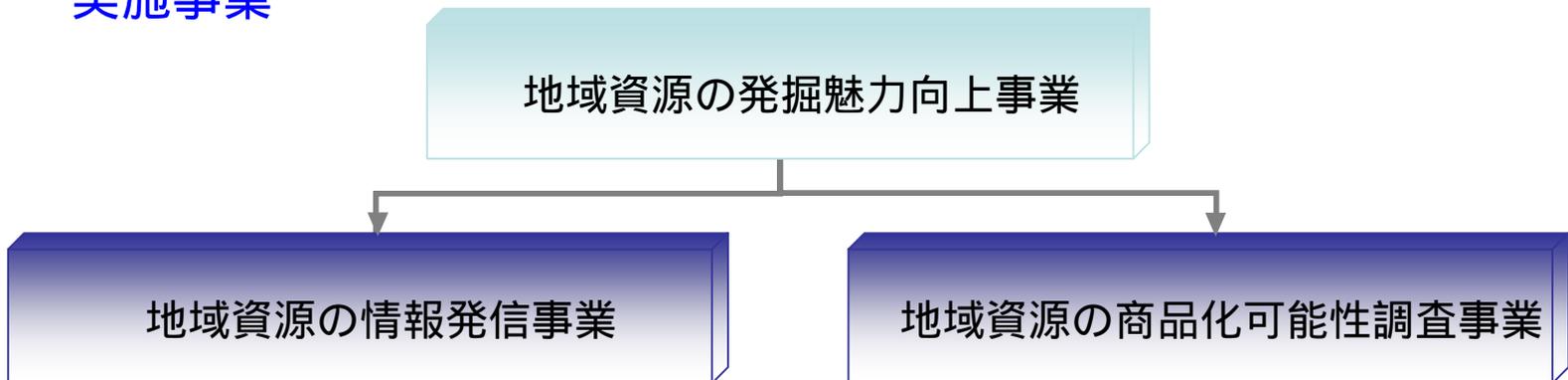
課題認識

圏域に農林水産、文化、自然・観光など多種多様な地域資源が存在する一方で、知名度・認知度が低く、圏域内で未だに知られていない隠れた地域資源も存在する。

事業目的

地域資源の循環による県境を越えた広域的な地産地消の実現
情報発信による地域内における三遠南信地域の知名度および認知度の向上
三遠南信地域資源の魅力向上、差別化による三遠南信ブランドの創出
コミュニティ・ビジネスの育成による中山間地域の活性化

実施事業



「三遠南信地域資源」発掘・魅力向上事業

【目的】三遠南信地域の独自ブランド創出のための研究

【内容】

三遠南信地域ブランド研究会を設置
地域資源調査の実施
地域資源のデータベースの作成
データの分析・研究

【取り組み】地域資源の情報収集 分類 体系化

地域資源をカテゴリ別大分類し、認知、訪問経験、訪問希望を調査

- ・自然資源・・・浜名湖、御前崎、茶臼山高原、など
- ・人文資源・・・豊川稲荷、浜松城、鳳来寺、など
- ・食資源・・・三ヶ日ミカン、浜名湖うなぎ、五平餅、豊川いなり寿司など
- ・伝統工芸・・・豊橋筆、飯田水引、鳳来寺硯など
- ・祭事・・・浜松まつり、手筒花火、豊橋まつりなど
- ・その他資源・・・ラグーナ蒲郡、豊橋の路面電車 など



「三遠南信地域資源」情報の発信事業

【目的】圏域内で地域資源情報を発信し、圏域意識を高めるとともに、三遠南信地域の知名度・認知度の向上を目指す。

【内容】三遠南信地域資源情報を圏域内へ発信
「(仮)地域資源情報マップ」を作成
情報ツール(web、紙媒体)を作成
地域拠点へ配布等情報発信

【取り組み】

情報発信

情報誌の作成

「三遠南信
ガイドブック」



「三遠南信地域資源」の商品化可能性調査事業

【目的】新たな特色を付加させた一次・二次商品の商品化に向けた市場調査および商品の販売拠点の設置に向けた社会実験の実証データの蓄積。

【内容】付加価値を持たせた地域資源の商品化の可能性調査と商品価値を検証

小売業者・卸売業者の視点による商品評価会の実施と商品価値の把握

消費者の視点による社会実験 体験コーナー設置
アンケートの実施、地域情報コーナー設置

【取り組み】

商品評価会

日時：3月12日(金)

場所：ホテルコンコルド浜松

商品出展15社・58品目、参加事業者30社

三遠南信「塩の道」物産展

～ええじゃないか市～ 来場者4,103人

日時：3月20日(土)・21日(日)

場所：ジャスコ豊橋南店 商品提供事業者 42社 99品目



3 三遠南信地域社会雇用創造事業

- 1 事業費 7億円（平成22年3月24日交付決定）
- 2 事業期間 平成22年3月24日から平成24年3月31日まで
- 3 事業目的 次の3分野において、社会起業インキュベーション事業及び社会的企業人材創出・インターンシップ事業を行うことにより、雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会的企業による継続的な雇用創造を図る。
 - (1) 自然資源を活用した雇用創造分野（森林ビジネス、地域資源活用ビジネス）
 - (2) 地域づくりによる雇用創造分野（まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス）
 - (3) 安心安全を確保するための雇用創造分野（食農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス）
- 4 事業内容 **【 社会起業インキュベーション事業 】**

三遠南信地域においてビジネスインキュベーションの実績を持つ諸機関と連携し、「企業内から発生する起業」、大都市及び全国へ流出した人材による「ふるさと起業」、地域内居住者による「地域内発起業」及び全国からの「Iターン起業」を支援します。

数値目標：起業支援者数 90人

【 社会的企業人材創出・インターンシップ事業 】

三遠南信地域において社会活動の実績を持つNPO法人等と連携し、非就業者（期間雇用者等）、学生・シニアなどを対象としたインターンシップ事業を行い、社会的企業への就職を支援します。

数値目標：インターンシップ研修生 800人
- 5 事業主体 三遠南信地域連携ビジョン推進会議

4 三遠南信地域の取り組み（1） 産業連携

光・電子技術イノベーション創出拠点（地域中核産学官連携拠点）H21.6.18採択

新産業創成のため、次代を担う世代の理数教育や産業支援人材を含めた、中長期的な人材育成を徹底的に行うとともに、垂直型からネットワーク型への産業構造の転換を進める。（浜松・東三河地域）

三遠南信地域基本計画 H22.3.25同意

ものづくり基盤技術と先端光・電子技術を活かして新産業の創出を図り、10年後の基幹産業化を目指す。（浜松市、豊橋市、飯田市）



【産業集積】

次世代輸送機器産業

航空宇宙産業

健康医療産業

新農業

光・電子産業

三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)の基本計画の概要

【地域のポテンシャル】

輸送用機器、精密加工産業の全国的集積地域
全国有数の農業生産額
世界水準の光・電子関連技術・産業

【地域ビジョン】

「三遠南信地域連携ビジョン(H20.3策定)」
産学官連携拠点「光・電子技術イノベーション
創出拠点(H21.6認定)」

【計画のポイント】

三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域において、知と産の融合、企業間連携、異業種・異分野融合等による三遠南信広域イノベーションクラスターの創成を通じて、当該地域で高いポテンシャルを有する輸送機器用次世代技術産業、健康・医療関連産業、新農業、光エネルギー産業の4分野における新産業の集積と基幹産業化の実現を目指す。

【1. 集積区域】

静岡県浜松市、愛知県豊橋市、長野県飯田市
(可住地面積) 821.91ha

【2. 集積業種】

輸送機器用次世代技術産業、健康・医療関連産業、
新農業、光エネルギー産業

【3. 成果目標(目標年次:平成26年度)】

新規事業件数	3,360件
製造品出荷額	9,750億円
新規雇用創出数	10,000人

【4. 目標に向けた事業環境整備等】

三遠南信広域イノベーションクラスター形成
(次世代輸送用機器、航空宇宙、健康医療、新農業、光・電子)
人材育成
(コーディネータの戦略的育成、中長期的な人材育成)
事業環境整備
(三遠南信地域連携ビジョン推進会議、三遠南信ビジネス
マッチング、首都圏等における展示商談会の実施等)

(2) 三遠南信自動車道等の建設促進

三遠南信自動車道

延長：約100kmの高規格幹線道路

区間：長野県飯田市山本

～静岡県浜松市北区三ヶ日町

提案活動の状況

三遠南信道路建設促進期成同盟会

【構成】県、市町村

- ・ 6、12月に提案活動

三遠南信自動車道早期開通期成同盟会

【構成】商工会議所・商工会

- ・ 9月にキャンペーン活動を実施
- ・ 12月に提案活動

三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会

【構成】3市の市議会

- ・ 6月に提案活動

3市要望（10月）

- ・ 豊橋市長、飯田市長、浜松市長が国交省に提案活動



「浜松市北区引佐町引佐北IC付近から
新東名JCを臨む」

(3) 防災・医療連携

浜松市消防ヘリコプターの広域運用

- ・平成22年5月運用開始（浜松市域内）
- ・災害救助や遠距離の救急搬送
- ・浜松市と隣接市が消防ヘリコプターに関する応援協定を締結
（平成22年3月30日締結、7月施行）
- ・浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市が航空消防に関する応援協定を締結
（平成22年6月29日締結、7月施行）

平成22年7月30日に、三遠南信地区消防本部合同会議が昨年に引き続き開催され、今後は、三遠南信地域消防連絡会の名称で開催することに決定。また、会議を年1回浜松市で開催することとなった。



三遠南信地域での活躍も期待される
浜松市消防ヘリコプター「はまかせ」

三遠南信災害時相互応援協定

- ・平成8年7月に締結
- ・平成17年11月に改定（災害時の初動体制の迅速化等の見直し）
- ・災害時に救出・救護・応急や職員派遣、資機材・物資の供給
- ・毎年、災害備蓄品の相互応援供給訓練や情報伝達体制の確認

平成22年7月16日 飯田市からの給水車派遣要請あり、応援協定に基づき

- ・浜松市 2トン給水車1台、4トン給水車1台
- ・袋井市 2トン給水車1台
- ・磐田市 1トン給水車3台
- ・豊橋市 2トン給水車1台
- ・田原市 2トン給水車1台
- ・豊川市 1.8トン給水車1台 を派遣した。

(4) 経済団体等との交流・連携

三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施

- ・目的 三遠南信地域の産業や特産品をPRするため
- ・期間 平成22年7月1日(木)～11月30日(火)
- ・内容 3圏域にそれぞれ10カ所クイズの出題地点設定
30カ所すべてに解答する街道浪漫満喫コース
(抽選で5万円相当のペア宿泊券と旅行券 3組)
各圏域を3カ所計9カ所に答える街道ぶらり散策コース
(各地域の特産品)
- ・主催 三遠南信地域経済開発協議会
- ・共催 三遠南信地域交流ネットワーク会議
三遠南信地域整備連絡会議
- ・後援 愛知県・静岡県・長野県
三遠南信地域連携ビジョン推進会議



大学フォーラム準備検討会

平成23年7月23日 愛知大学学長、豊橋科学大学副学長、静岡文化芸術大学副学長にお集まりいただき、大学フォーラム設置に向けた第1回の検討会を開催

- 目的 三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する大学フォーラム設置のため
- 方向性 現在各地区にある大学ネットワークを拡大する方向で検討
平成22年度末までに中間取りまとめを行う

(4) 経済団体等との交流・連携

しんきん南信州地域研究所開設・ 三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

- ・平成21年5月23日に飯田市で開催
- ・ビジョンの推進・評価、プロジェクトに向けた調査
- ・3地域のシンクタンクが協定の締結
東三河地域研究センター
静岡県西部地域信金しんきん研究所
しんきん南信州地域研究所



三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

第2回三遠南信(8信金)しんきんサミット

- ・平成21年10月6日、豊橋市
- ・しんきん農商工連携フォーラム
- ・しんきん物産展
飯田信用金庫 浜松信用金庫
磐田信用金庫 掛川信用金庫
遠州信用金庫 豊橋信用金庫
豊川信用金庫 蒲郡信用金庫

平成22年11月13日第3回三遠南信しんきんサミット開催
会場：飯田市公民館他

同時開催 三遠南信グルメサミット
会場：飯田中央公園



三遠南信しんきんサミット物産展

(4) 経済団体等との交流・連携

「Beauty うつくしいもの」の浜松上映

- ・8月15～28日
- ・シネマ イーラ(浜松市中区田町)で上映
- ・企画などをNPOがコーディネート
- ・長野県南部の南信州にある大鹿村(おおしかむら)に伝わる村歌舞伎を題材にした映画

第16回三遠南信ふるさと歌舞伎交流大鹿大会

- ・9月13日、大鹿村
- ・湖西歌舞伎保存会、豊橋素人歌舞伎保存会、大鹿歌舞伎保存会の共演 祭り街道フェスティバルちらし

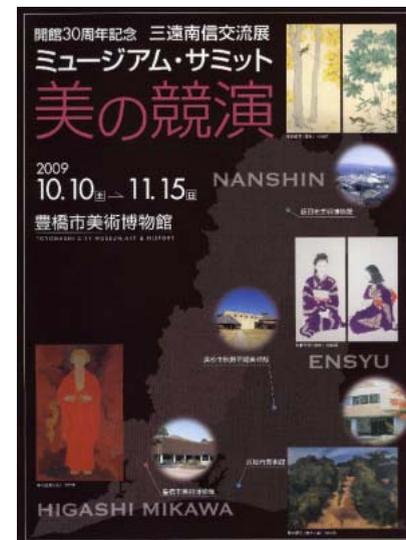
祭り街道フェスティバル

- ・9月20日、新野千石平道の駅
- ・主催「祭り街道フェスティバル実行委員会」
- ・長野県阿南町、愛知県豊根村、愛知県東栄町
- ・花祭りが共演

三遠南信交流展ミュージアムサミット

「美の競演」

- ・10月10日～11月15日、豊橋市美術博物館
- ・菱田春草 / 飯田市美術館
- ・秋野不矩 / 秋野不矩美術館
- ・岸田劉生 / 浜松美術館
- ・中村正義 / 豊橋美術博物館



ミュージアムサミットちらし

(5) 情報発信事業

SENAホームページ (三遠南信地域連携ビジョン推進会議)



三遠南信エリア情報 (三遠南信地域交流NW会議)



三遠南信紀行 / 中日新聞



三遠南信地域連携のあゆみについて

三遠南信とは、

愛知県東部の東三河（ひがしみかわ）地域を「三」、

静岡県西部の遠州（えんしゅう）地域を「遠」、

長野県南部の南信州（みなみしんしゅう）

地域を「南信」とした、

3県の県境にまたがる地域です。



人	口	約 230万人
総	面積	約 6,060平方km
農	業産出額	308,360百万円
製	造品出荷額等	13,797,391百万円
年	間商品販売額	5,882,218百万円

三遠南信地域連携ビジョン策定時点（H20.3）

1 三遠南信の圏域

1 は商工会議所として参加
2 は自治体がオブザーバー参加
3 は商工会議所として参加
自治体がオブザーバー参加
() の数字はSENA構成員の市町村数

南信州地域 (14)

長野県

飯田市・松川町・高森町・
阿南町・阿智村・平谷村・
根羽村・下條村・売木村・
天龍村・泰阜村・喬木村・
豊丘村・大鹿村

東三河地域 (8)

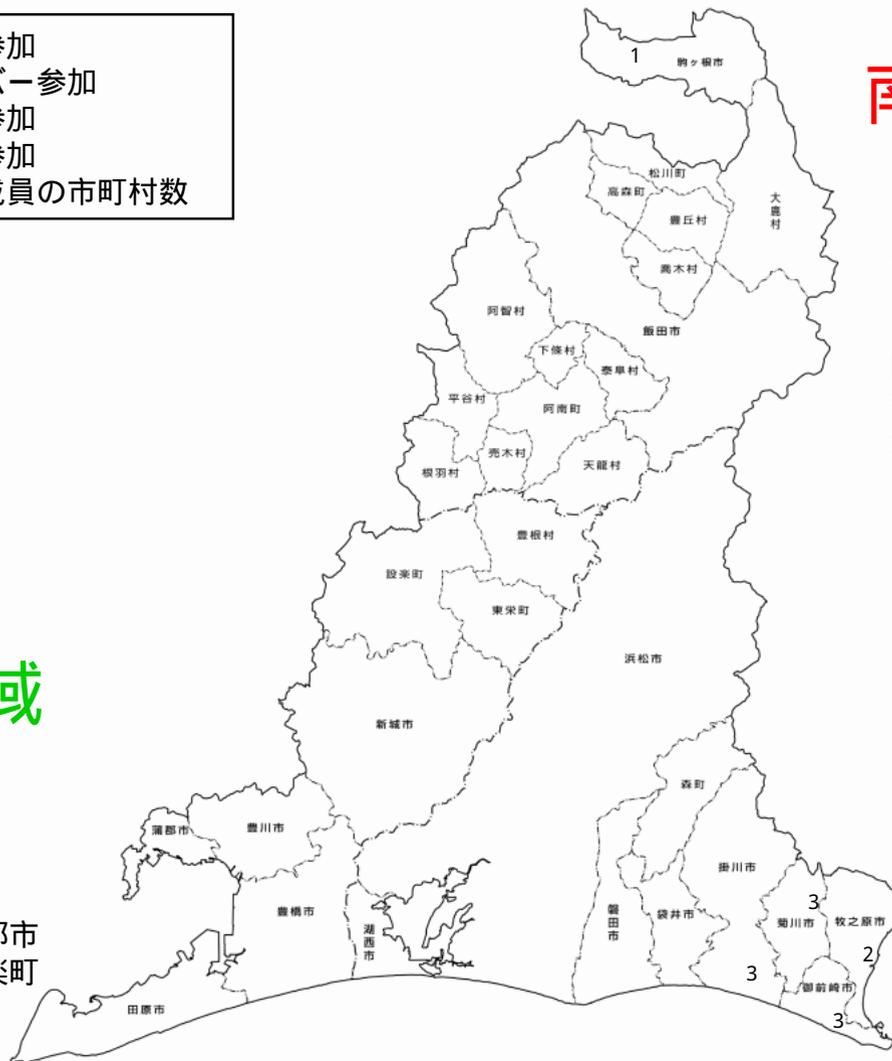
愛知県

豊橋市・豊川市・蒲郡市
新城市・田原市・設楽町
東栄町・豊根村

遠州地域 (5)

静岡県

浜松市・磐田市・袋井市
湖西市・森町



2 三遠南信地域の歴史的つながり

三遠南信地域は、天竜川、豊川の両河川の流域であることから、これらの河川を利用した水運が盛んでした。

また「塩の道」と呼ばれる三州街道（飯田街道）、遠州街道（秋葉街道）、中馬街道などの陸運によっても平野部と内陸部とが結ばれ、交流が活発に行われていました。

これにより、この地域は、文化、経済、信仰など様々な分野において、行政の境界を越えて独自の生活文化圏を形成してきました。

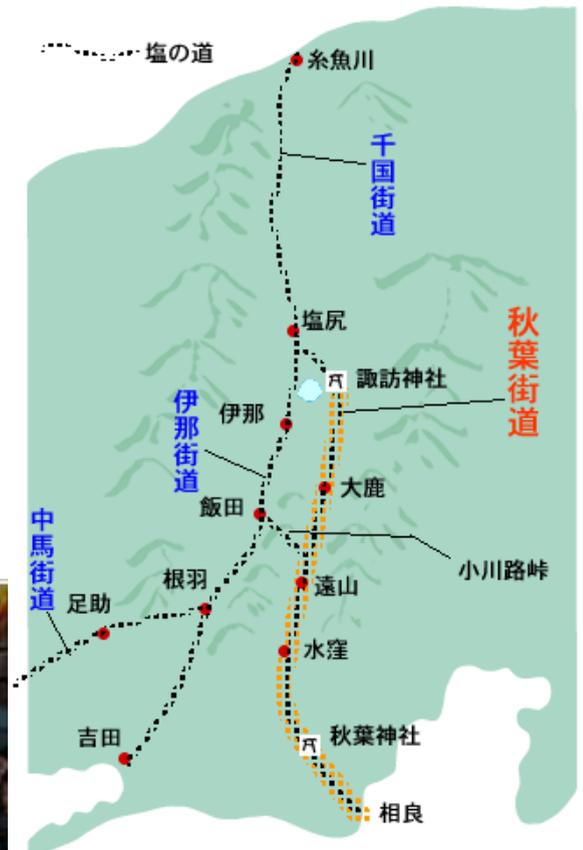
この生活文化圏は、戦国大名による勢力圏の変遷や明治維新による政治的な意図に基づく地域分割にもかかわらず、現在も続いています。



荷物を運ぶ中馬



川合花の舞（遠州 浜松市佐久間）



3 広域的な取り組みの経緯

- 昭和 2 7 (1952) 年 「天竜・東三河特定地域総合開発計画」(国土総合開発法)
- 4 9 (1974) 年 「天竜奥三河地域総合調査報告」(3県知事会合意に基づく)
- 6 0 (1985) 年 「三遠南信トライアングル構想」(中部経済連合会策定)
- 6 2 (1987) 年 「四全総」により「三遠南信自動車道(高規格幹線道路)」
位置づけ
- 平成 5 (1993) 年 「三遠南信地域整備計画結果の公表」
- 6 (1994) 年 「三遠南信地域整備連絡会議」設立
(建設省,長野県,愛知県,静岡県,59市町村,中部経済
連合会,飯田・豊橋・浜松商工会議所)
- 「第1回三遠南信サミット&シンポジウム」開催
- 8 (1996) 年 「三遠南信地域交流ネットワーク会議」設立(59市町村)
- 9 (1997) 年 「三遠南信地域経済開発協議会」設立(68商工会議所・商工会)
- 1 7 (2005) 年 「三遠南信自動車道早期開通期成同盟会」の設立
- 2 0 (2008) 年 「三遠南信地域連携ビジョン」を合意(20年3月策定)
「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」の発足
- 2 1 (2009) 年 「三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会」の発足
(飯田・豊橋・浜松の3市議会)
「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」の事務局体制
の強化(浜松市・豊橋市・飯田市の職員で事務局を構成)

～ は、SENAの構成員

4 三遠南信サミットの歴史

1	H6. 2.10	三遠南信地域に今、21世紀の風が吹く *「三遠南信サミット&シンポジウム」として開催	浜松市
2	H6.11.21	交流がつくる三遠南信の未来	豊橋市
3	H7.10.11	次代に向けて動く三遠南信 ~地域を変える交流の創出~	飯田市
4	H8.11.22	三遠南信地域の新たな連携と共生に向けて	浜松市
5	H9.11.17	三遠南信地域の新たな連携 ~循環型社会の構築と新たな活力の創造~	豊橋市
6	H10.10. 8	三遠南信の新たなステージをめざして ~交流から参加と連携へ~	飯田市
7	H11. 7.23	人が、物が、そして地域が動く *「三遠南信サミット」と名称変更	雄踏町
8	H12.7.26	絆、そして融合 ~三遠南信地域の明日をめざして~	豊橋市
9	H13.11.8	交流の新たなステージへ ~21世紀 三遠南信地域住民交流の創出~	飯田市
10	H14. 7.24	快適空間・三遠南信 ~元気な観光・交流の新たな創出~	浜松市
11	H15.10.27	まるごとミュージアム・三遠南信 ~魅力再発見からもてなしのまちづくりへ~	豊橋市
12	H16.11.25	新たな歴史の扉を拓く ~三遠南信からの発信~	飯田市
13	H17.11.4	三遠南信・新たな時代の幕開け ~夢街道いよいよ実現へ~	浜松市
14	H18.10.23	三遠南信・圏域の創生をめざして ~つながる 広がる 躍動する~	豊橋市
15	H19.11.14	将来(あす)への展望 ~今、三遠南信地域の新たな協創のとき~	飯田市
16	H21.2.10	三遠南信250万流域都市圏の創造に向けた挑戦	浜松市
17	H21.11.13	日本の県境連携モデルの構築	豊橋市

H18
道州制において
同じ道州を目指す
ことを決議

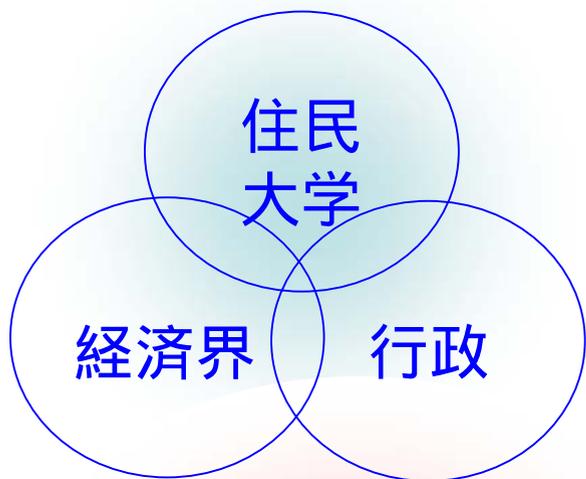
H19
三遠南信
地域連携ビジョン
を合意

H20
三遠南信
地域連携ビジョン
推進会議の立ち上げ
により本格的な稼動

三遠南信地域連携ビジョンについて

検討委員会

(平成18年10月設置)



三遠南信地域連携ビジョン

平成20年3月策定

< 新たな地域振興の指針 >

(構成員全員の書面決議)

三遠南信サミットで合意

三遠南信地域連携ビジョン

「目指すべき地域像」

「地域連携事業の方針」

< H19.11.14 >



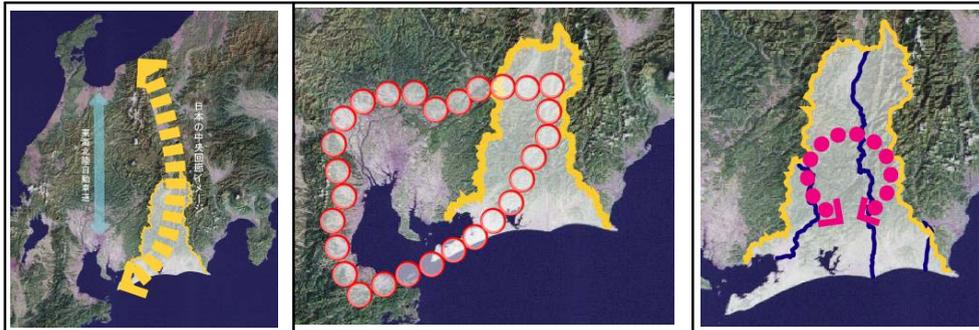
1 三遠南信地域連携ビジョンの概要

三遠南信地域連携ビジョンの将来像

—世界につながる日本の中央回廊—

三遠南信 **250** 万流域都市圏の創造

目指すべき地域像



日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結ぶ

大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築

流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築

五つの目的

道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
地域連携活動の相乗効果の発揮
県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、**概ね10年間**とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定める。

策定体制

三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENAセナ)

- ・平成20年11月に立ち上げ、事務局を浜松市に開設
 - ・平成21年4月に豊橋市、飯田市職員が事務局に加わる
- ### 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENAセナ) の役割
- ・重点プロジェクトの推進
 - ・重点プロジェクトの評価・見直し
 - ・道州制等の国の動きに対する働きかけ
 - ・NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援

五つの基本方針



中部圏の中核となる地域基盤の形成



持続発展的な産業集積の形成



塩の道エコミュージアムの形成



中山間地域を活かす流域モデルの形成



広域連携による安全・安心な地域の形成

2 五つの基本方針と重点プロジェクト

連携事業の政策体系

重点プロジェクト

テーマ	政策の基本方針	推進方針
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造・世界につながる日本の中央回廊	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人との流動促進
		情報の流動促進
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信
		エコミュージアムのプラットフォームづくり
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成
		流域定住推進モデルの形成
	広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上
		多文化共生の基盤づくり
		広域的な防災体制の充実化

1. 中部圏の中核となる地域基盤の形成

三遠南信自動車の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現
三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実
リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置
豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進
県境を越えるマスコミの連携

2. 持続発展的な産業集積の形成

三遠南信ビジネスマッチングの促進
国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
三遠南信地域大学フォーラムの設置

3. 塩の道エコミュージアムの形成

「塩の道」風景街道の体制づくり
地域資源を活かす鉄道の有効活用
海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進
三遠南信アンテナショップの開設

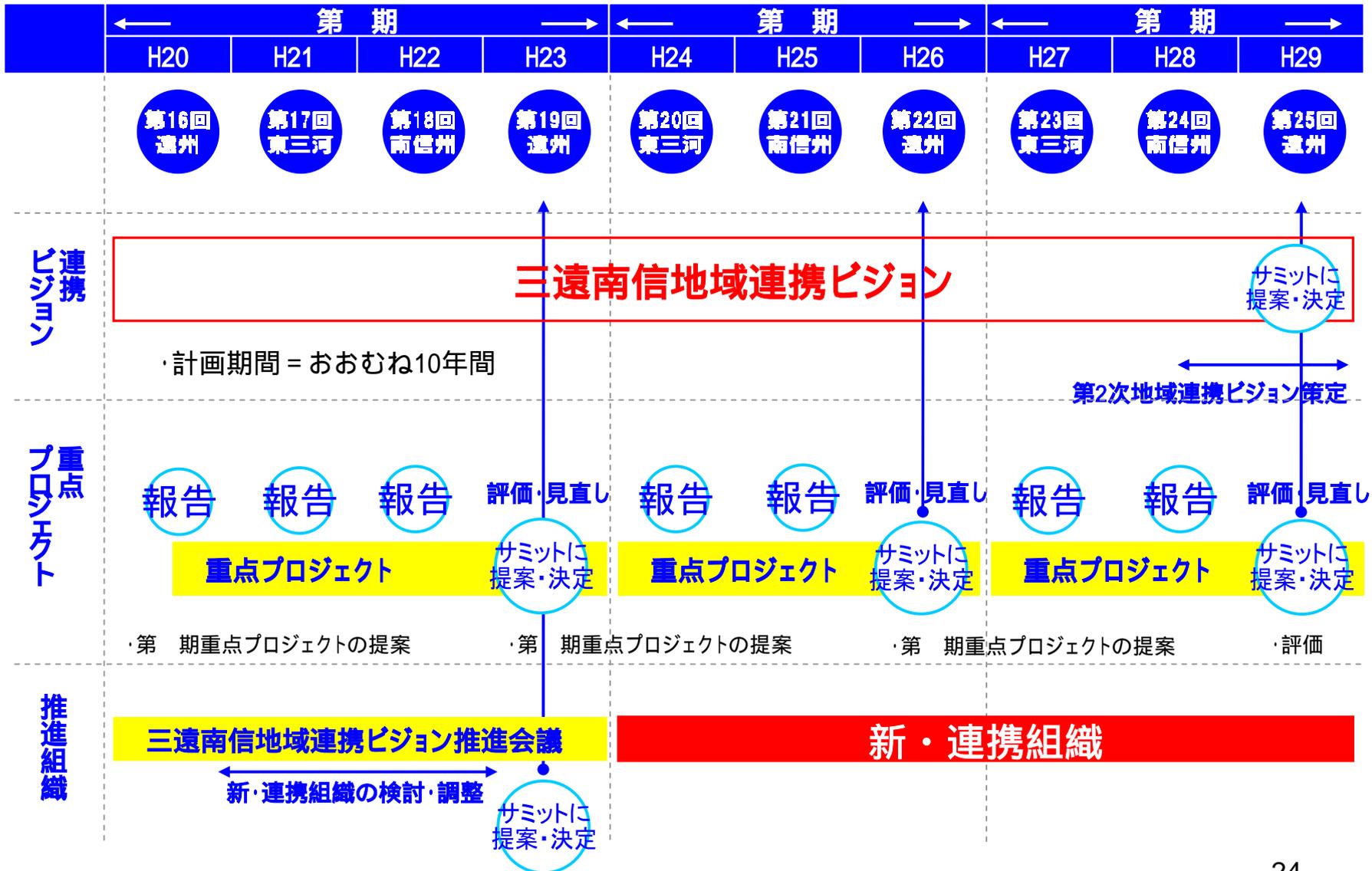
4. 中山間地域を活かす流域モデルの形成

「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進
上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

5. 広域連携による安全・安心な地域の形成

医療分野の県境を越える連携の促進
三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進
県境を越える防災体制の強化

3 三遠南信地域連携ビジョン スケジュール



4 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)

目的

三遠南信地域連携ビジョンのテーマである「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す。

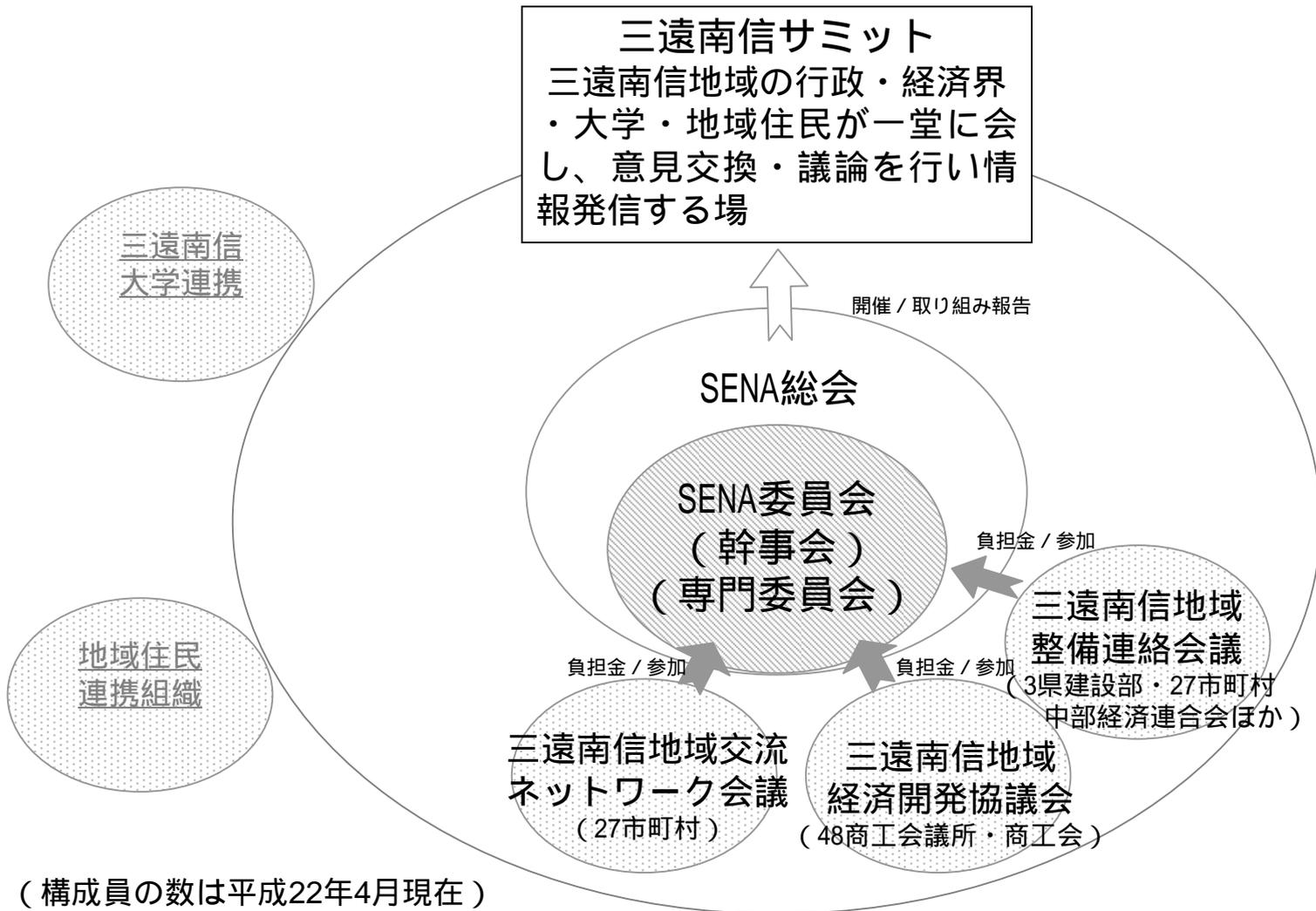
事業

- (1) 三遠南信サミットの開催
- (2) 連携ビジョンに定めた重点プロジェクトの推進
- (3) 重点プロジェクト推進状況の評価
- (4) 道州制に関する国等への働きかけ
- (5) NPO法人、企業等が取り組む三遠南信地域の連携に資する活動に対する支援
- (6) 三遠南信地域の一体的な圏域を確立するための組織の検討
- (7) その他SENAの目的達成に必要な事業

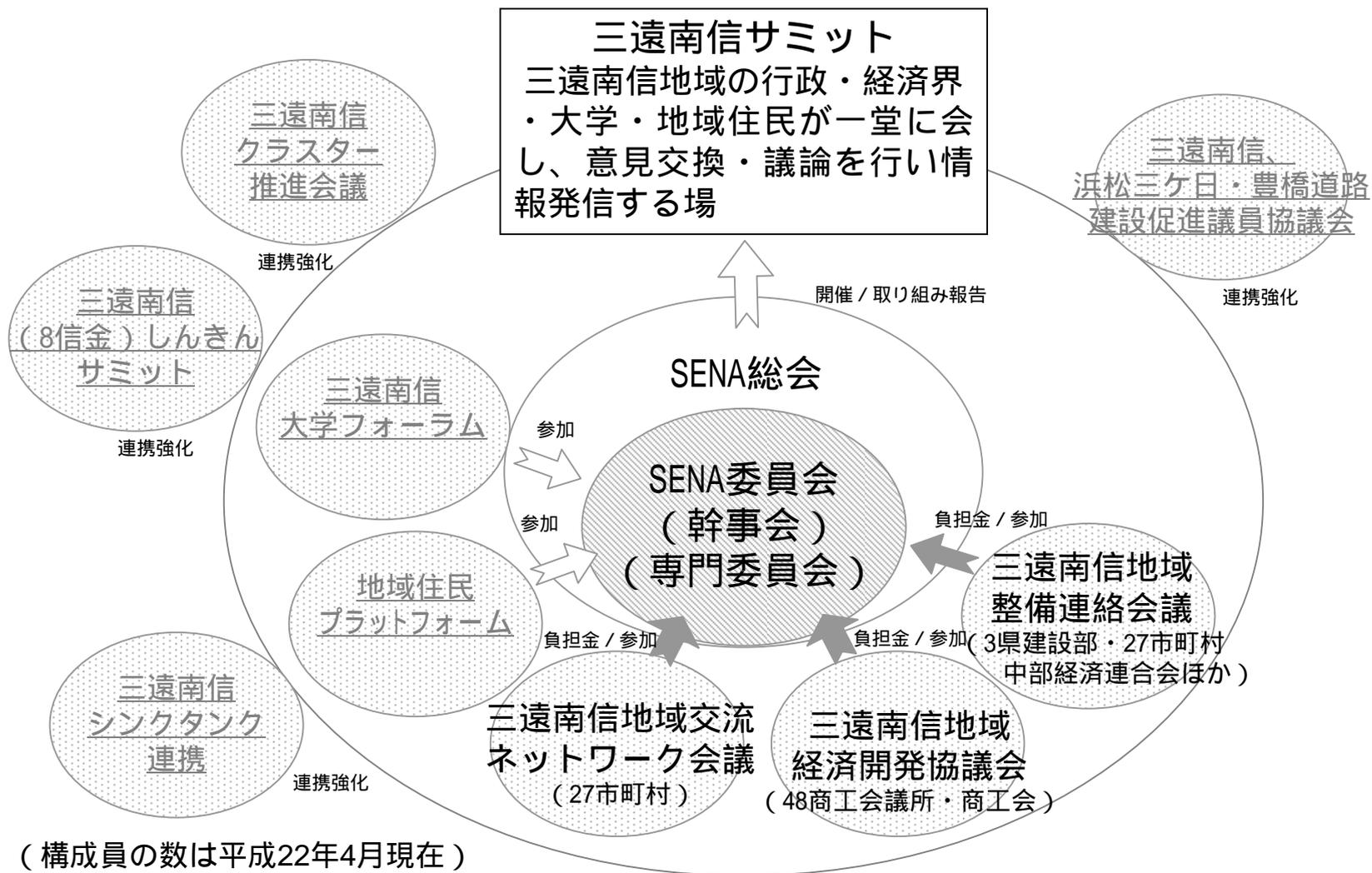
構成員

- (1) 三遠南信地域交流ネットワーク会議の構成員
- (2) 三遠南信地域経済開発協議会の構成員
- (3) 三遠南信地域整備連絡会議の構成員
 - ・ 連携ビジョンの推進に適切な助言を得るため、アドバイザーを置くことができる。
 - ・ 必要に応じて、オブザーバーを置くことができる。

5 SENA組織体制(1)(現在のすがた)



SENA組織体制（2）（目指すべき姿）



国土形成計画における当ビジョンの位置づけ

国土計画の変遷

- | | |
|--|-------------------------------|
| ・ 全国総合開発計画
（昭和37年～）
開発基調・量的拡大の計画 | 国土形成計画
（平成20年）
成熟社会型の計画 |
| ・ 法律改正による抜本見直し、開発中心からの転換 | |

国土形成計画

- ・ 全国計画と全国8ブロックごとの広域地方計画
- ・ 地方公共団体からの提案制度、パブリックコメント

中部圏広域地方計画

- ・ 圏域 長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県
- ・ 計画期間 21世紀前半期を展望しつつ、おおむね10か年
- ・ 平成21年8月に国土交通大臣の認定
- ・ 14のリーディングプロジェクトのひとつとして、
「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」を位置づけ

中部圏広域地方計画の構成概要

区 域：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県（人口：約1,720万人、域内総生産：約77兆円）

中部圏広域地方計画協議会（会長：神田真秋 愛知県知事）※平成21年6月11日第2回協議会時点

（県・政令市）		（市長会・町村会）	（隣接地方公共団体）	（経済団体）
長野県知事	静岡市長	東海市長会会長（鳥羽市長）	富山県知事	中部経済連合会会長
岐阜県知事	浜松市長	東海四県町村会代表者（八百津町長）	石川県知事	東海商工会議所連合会会長
静岡県知事	名古屋市長		福井県知事	長野県商工会議所連合会会長
愛知県知事			滋賀県知事	静岡県商工会議所連合会会長
三重県知事				（国の地方支分部局の長）

キーコンセプト

ものづくりと環境貢献で
日本のロータリーとして
世界のまんなかへ

戦略目標

- 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大
- 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化
- 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成
- 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現
- 安全・安心で災害にも強い地域づくり

プロジェクト

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 ものづくり産業の競争力強化PJ | 8 農山漁村の活性化PJ |
| 2 次世代産業イノベーションPJ | 9 多文化共生先進圏づくりPJ |
| 3 低炭素社会実現PJ | 10 暮らしの安心・快適PJ |
| 4 いきもの共生PJ | 11 文化継承・創造PJ |
| 5 国際ゲートウェイ中部PJ | 12 災害克服PJ |
| 6 まんなか巡り観光交流PJ | 13 三遠南信流域都市圏活力向上PJ |
| 7 高次都市機能・連携強化PJ | 14 伊勢湾再生PJ |

（他圏域との連携プロジェクト）

- 1 東北圏・首都圏連携PJ
- 2 北陸圏・近畿圏連携PJ

（北陸圏との連携プロジェクト）

- 1 まるっと北陸・中部観光魅力増進PJ
- 2 広域物流ネットワーク（日本海～太平洋）構築PJ
- 3 環白山・環北アルプス広域エコロジーPJ
- 4 広域防災・災害応援ネットワークPJ

<http://www.sena-vision.jp/>

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

(SENA : San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference)